



表面 12 (写真) とはり合わせてね。

◎よみかたの工夫

「むせんとうものがたり」

ぼくのなまえは、無線塔です。

みなみそう ま し はくぶつかん げんかん まえ

南相馬市博物館の、玄関の前にいるよ。

いまはこんな姿^{すがた}だけど、むかしは全然^{ぜんぜん}ちがったんだ。

(ぬく)

この紙芝居は、南相馬市原町区高見町につくられた磐城無線電
局原町送信所（通称 無線塔）を紹介する紙芝居です。子どもか
ら大人までより多くの人にまちの歴史のひとつを届けることが
できるように制作しました。無線塔はもう存在しませんが、面白
いと感じたら、ぜひ、博物館や図書館で詳しい内容を調べたり、
残された痕跡を追ったりしてみてください。

南相馬市博物館・南相馬市立図書館

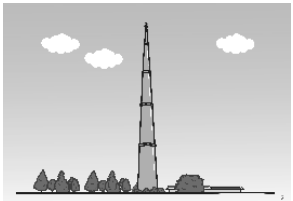
むせんとうものがたり
2023年9月1日 第1版

制作 南相馬市博物館
協力 南相馬市立図書館

タイトルはゆっくり
と

無線塔になりきりま
す

全然を強調します



表面1とはり合わせてね。

どーん

これがいまから約〇〇年前、1921年につくられたときのぼく

いまの「道の駅南相馬」のとなり、じゃぶじやぶ池の高見公園がある場所につくられたよ。

つくられた時は20メートルあって、世界で2番目の大きさだったんだ。

ちなみに、その時1番大きかったのは、パリのエッフェル塔だよ。

最初は、鉄でつくられる予定だったんだけど、鉄はねだんが高くて、塔は大きすぎるから、それより安いコンクリートでつくられたんだ。

でもじつは…

(ぬく)

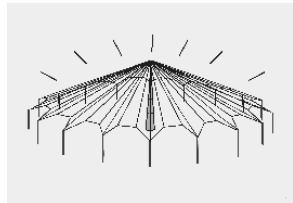
◎よみかたの工夫

大きさを表現します

〇〇には適当な数字をいれてください

ほころしげに

つぎのページにつなげます



表面2とはり合わせてね。

じゃーん

こつちの姿が完全体

本体のコンクリートの塔のまわりに、クモの
 巣みたいにワイヤーが広がっていたよ。

なんでこんな形をしているかわかるかな？

じつは、このワイヤーはアンテナになっていてね

：

(ぬく)

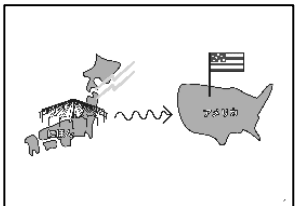
◎よみかたの工夫

とくいげに

クモの巣を強調しま
 す

問いかけるように

つぎのページにつな
 げます



表面3とはり合わせてね。

電波という、目には見えない電気エネルギーをとばすことができたんだ。

そう、ぼくのしごとは、電波をとばして情報すべての場所につたえること。

この大きく広がったワイヤーをつかって、アメリカまで情報をとばすことができたよ。

電波をつかって情報をとばすことを無線と
いって、そのためぼくは無線塔とよばれたんだ。

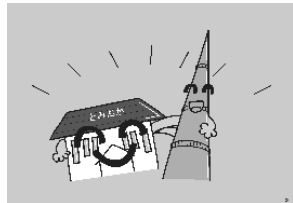
(ぬく)

◎よみかたの工夫

びっくりさせるように

とくいげに

説明のセリフはゆっくりと



表面4とはり合わせてね。

◎よみかたの工夫

とみおかまち

たてもの

ぼくには富岡町になかまの建物がいて、ぼく
 たちはセットで、「磐城無線電信局」(※)と
 よばれていたよ。

名称はゆっくりと

いま

せかい

今はインターネットで、かんたんに世界とつな
 がることができるけど、昔はそうじゃなかった。

さいせんたん

ぎじゆつ

つくられたときは、最先端の技術だったんだ。

ほこらしげに

(ぬく)

(※) 磐城無線電信局とは、電波の受信と無線送信のコントロー
 ルを行う富岡町の「富岡受信所」と、電波の送信を行う原町の「原
 町送信所」を併せた呼び方です。受信の電波と送信の電波が混線
 することを避けるため、当時の技術では、受信所と送信所を離れ
 た場所につくる必要がありました。局長が在勤した富岡受信所が、
 実質本局の役割を果たしました。



表面5とはり合わせてね。

◎よみかたの工夫

ぼくたちができたとき、町まちはとっても大きなパーティーをひらいてくれたよ。

外国がいこく式のパーティーだったんだけど、日本にほんのひとは、まだ外国がいこくの食べ物たになれていなくて、バナナを皮かわごと食たべたひともいたよ。

そのあとしばらくのあいだは、無線むせんをとばすというしごとをがんばっていたんだけど、つくられてから2年ねんがたったとき…

(ぬく)

うれしそう

ゆかいそうに

トーンを下げながら、
つぎのページにつな
げます



表面6とはり合わせてね。

東京とうきょうやそのまわりですごく大きな地震おおじしんがおきたんだ。

関東大震災かんとうだいしんさいっていう地震じしんだよ。

そのとき東京とうきょうやそのまわりはたくさんひとびとのものがこわれて、人々はパニックパニックになった。

いろいろな情報じょうほうがとびかい、なかにはまちがった情報じょうほうもながれてしまったせいで、なかなか助たすけをよべなかった。

(ぬく)

◎よみかたの工夫

トーンをさげたまま、
しかしはつきりと

名称ははつきりと

大変大変だったことがつ
たわるように



表面7とはり合わせてね。

◎よみかたの工夫

説明のセリフはゆっ
くりと

でもそのとき、磐城無線電信局のリーダーだ
った米村嘉一郎さんが、正しい情報をえら
んで、つたわるまでなんども、ぼくたちをつかつ
て無線でメッセージをおくり、アメリカに日
本の危機をつたえたんだ。

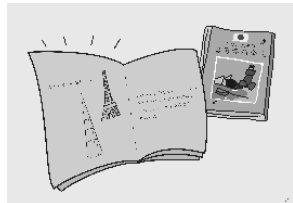
アメリカからほかの国にも、「日本がいまたい
へんだ」とつたわって、世界中の人が日本を
たすけてくれた。

そのおかげで、たくさんの人命が、すくわれ
たよ。

米村さんの立派なはたらきは日本だけでなく
アメリカからも表彰されて、ぼくたちは役に
立てたことが、とてもうれしかったな。

(ぬく)

うれしそうに



表面8とはり合わせてね。

◎よみかたの工夫

ほこらしげに

ぼく無線塔は、有名になって、むかしの小学校の教科書にのったりもしたんだよ。

だけどそのあと、無線の技術が進化して、ぼく

たちはつかわれなくなった (線1までぬく)

つくられてから50年以上の長い時間に、ぼく

のからだのコンクリートがだんだん古くなって、

はがれ落ちてくるようになってしまった。

まちの人からは「残してほしい」という声がた

くさんあったけど、とうとうぼくはこわされることになったんだ。

ぼくはすごく大きかったから、上から順番に

(線2までぬきながら) だんだん、

(線3までぬきながら) だんだん、

(線4までぬきながら) だんだん、

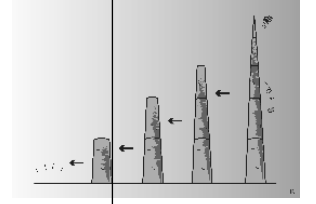
(すべてぬく) だんだん、

とこわされていったよ。

さみしそうに

線
1

| 10



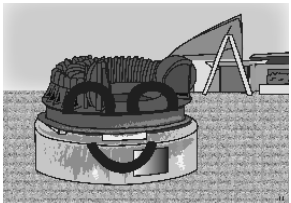
表面の
とはり
合わせて
ね。

線
2

線
3

線
4

(2秒置いたらぬく)



表面10とはり合わせてね。

◎よみかたの工夫

こうして、塔とうのてっぺんぶぶんの部分だけがのこって、
ぼくはいまの姿すがたになったんだ。

かみしめるように

場所ばしょも変わかって、博物館はくぶつかんの前まえにおかれるこ
とになったよ。

あかるく

いまはもう大きな姿すがたではないけれど、ぼくたち
が関東大震災かんとうだいしんさいのとき、人の役やくに立つことたが
できたこと、この町まちに大きな無線塔むせんとうがあつた
こと、おぼえていてほしいな。

今日きょうはきいてくれてありがとう。みんなぜひぼ
くに会あいにきてね！

元気に

(ぬく)



写真は、昭和 50 年代頃に塔の西側から
撮影されたもの

(舞台から出して、縦にして見せます)

表面 11 とはり合わせてね。

おしまい

参考情報

1 なぜ原町に建てられた？

原町には次の特徴があったことから、建設場所として選ばれました。

- ① すでに運用されていた千葉県の船橋無線局から離れた場所であった。
- ② 地盤が強く、あけた場所があり、アメリカ方向に電波を遮る山などがなかった。また、地下水が豊富で水供給が優れていた。
- ③ 常磐線が通っており、交通の利便性がよかった。
- ④ 無線局用地 19,981 坪 (約 66,053 平方メートル) を原町が無償貸与した。

2 実際運用されたのは約 10 年

無線技術の進歩が速く、開局していたのは大正 10 年 (1921) から昭和 8 年 (1933) までの約 10 年でした (原町送信所は、大正 15 年 (1926) から昭和 3 年 (1928) の間、大改修により運用停止)。閉局後、昭和 57 年 (1982) に解体されるまで、約 50 年間運用はされませんでした。

3 まぼろしの保存計画

解体計画が上がった際に、比較的損傷が少ない下段部分を残す案もありましたが、実現しませんでした。

4 富岡受信所はどうなった？

富岡受信所は昭和 7 年に閉局後、民間に払い下げられ、民家として使用されてきました。建物の構造は建設当時のまま使用されていましたが、福島第一原子力発電所事故により指定された避難区域内にあったため、老朽化が進み、平成 28 年 (2016) に解体されました。